

【山行報告】

有間峠～日向沢の峰～長尾丸山～棒の嶺～さわらびの湯

埼玉支部 岸 裕子

5月16日(土)埼玉100山に参加した。支部山行にはなかなか参加できていないが、今回は4月の山行に続き、また、皆様とご一緒できるのが嬉しく、とても心待ちにしていた。しかし、気になるのは何と言ってもお天気。朝の天気は予報通りの雨。お昼からは晴れマークとなっていたので、雨が上がるのを期待しながら大宮の集合場所へと向かう。

大宮から出発の一行は13人、いつものマイクロバスに乗る。若葉駅、飯能駅で8名が合流し、総勢21名となった。さわらびの湯でトイレ休憩、有間ダムの湖畔を過ぎ、新緑が萌える山道を辿ると、登山口である有間峠に到着した。

峠はガスっていたが、雨はすでに上がっていた。準備体操を済ませた後、21名が一列になって歩き始める。棒の嶺は我が家からも日帰りで行きやすいので、今までに何回も登っているが、今回のルートは初めてだ。有間峠からの逆コース、しかも、縦走路なので、気持ちもワクワクしてくる。歩き初めはシロヤシオ、三つ葉つつじ、山つつじなどの花を愛でながらのなだらかな登りである。1時間ほどで日向沢の峰(うらと読むそうです)に到着。山頂の看板には飯能市最高峰と記されている。1,356mの山頂からは丹沢や奥多摩の山々を望むことができた。雲取山はちょうど雲の中に隠れていて、姿を見ることができない。記念撮影をして、次の長尾丸山に向かった。

この後、日向沢の峰からの下山道は、しばらくの間、急坂が続いている。雨の後の滑りやすさも手伝って緊張の連続であった。延々と、断続的に急坂が現われ、落石があったり、木の根っこが滑りやすくなっていたり、気を抜くことができない下山が続いた。

1時間半ほどで長尾丸山に到着した。この頃には太陽も時折顔を出し、天候はすっかり回復して、心地よい風が適度な涼しさをも運んでくれる。あまりお天気が良すぎても今の時期はかなりの暑さになるので、今日のお天気は山歩きには最高である。途中、休憩を取りながら槇の尾山～棒の嶺へと歩を進めて行く。棒の嶺到着は、14時40分。予定の時間よりだいぶ遅れているのではないだろうか。

棒の嶺からの下りも、階段状の道が一部荒れていて、良くなかった。木の根に足を引っ掛けないう、ツルツルの道に足を滑らさないよう、長時間に亘り、気を引き締める下山となった。

緊張を強いられた足に疲労感が始まった頃、さわらびの湯の広場から、楽器の演奏が聞こえ始めてきた。今日と明日と、2日間、音楽祭が開催されているとのことである。この音楽が演奏されているところまで下れば良いのだと自分に言い聞かせながら、最後の気合を入れ直す。それから、およそ、30分、無事に河又の登山口に帰り着いた。

今回の山行では他のパーティ、登山者とは誰一人会うことがなかった。本当に珍しいことだと思う。

下山後は音楽祭の広場に出店中のお店で、早速、生ビールを仕入れ、一気に、喉を潤しながら、後続のグループの到着を待つ。

18時、さわらびの湯を後にして、帰途に就いた。

いつもながらに、和気あいあいの支部山行。参加者の皆様、ありがとうございました。

余談：この山行ではもう一つみんなで盛り上がったことがあります。

『ピロリ菌』ある人がピロリ菌の除菌の薬を飲み始めたと言います。服薬による体調の副作用のことなど話し始めると、あちこちから私は10年前に、私は5年前に、私は？年前よ…。〇%まで減らせればいいんだって。でも今なら〇%までで良いんだよ。

ピロリ菌がいるからって悪いことばかりじゃないんだよと、山中での休憩時間に話が弾み、出発の時間になっても尽きることはありませんでした。

記録：大宮発 7:00＝☞若葉 7:58＝飯能 8:40＝さわらびの湯 9:20☞＝10:30 有間峠 10:45
11:30 日向沢の峰(ウ)11:45－13:36 長尾丸山 14:05－榎ノ尾山 14:35－14:55 棒の峰 15:20
－17:40 さわらびの湯発 18:00☞＝西大宮



長尾丸山山頂にて